



## 会長新年あいさつ

土田 義也



青葉町にお住まいの皆様 新年明けましておめでとうございます。  
令和5年の新春を迎え、心新たに日頃の思いを祈願されたことと存じます。皆様とともに一年の安寧をお祈り申し上げます。

新型コロナウイルス感染症が拡大してから4年目、コロナウィルスも次々と変異を繰り返し、未だ先の見えない状況で、人前でのマスクの着用、手指の消毒、ソーシャル・ディスタンスなどが、あたりまえの毎日です。今年こそ平常な生活が戻ってくることは誰もが願っていることです。

しかし、それ以上にロシアのウクライナ侵攻に始まり、世界経済の悪化、中国、北朝鮮の国際法を無視する傍若無人な振る舞いが目立つようです。日々震撼することが次々に起こって、これからは国内だけではなく、世界の動きにも注視し、賢い選択をしなければならいようです。

明るい話題としては、皆様ご承知のように厚別地区、特に新札幌駅周辺が再開発ですっきり様変わりし、新しい街が誕生しました。医療体制が他の都市には類を見ないほどの充実ぶりで、高齢者が多い青葉地区にとっては一段と安心して暮らせる街になりました。

昨年10月には新橋－横浜間鉄道開通150年、また8月には札幌市制100周年記念イベントが開かれるなど、次世代に向けての大きな節目の年になりました。1872年（明治5年）新橋－横浜間に鉄道が開通しましたが、意外と北海道の鉄道も長い歴史があり140年を超えていることはあまり知られていないようです。2030年には北海道新幹線が札幌まで延伸されることで、札幌駅もリニューアルされることになり、工事も最終段階に入ったようで、開業に向けてまた嬉しい話題がひとつ増えました。

旧青葉小学校の解体がいよいよ始まります。長い間地域住民に不安と心配をおかけしてきました旧校舎の解体が、やっと今年の春から始まり1年後には更地になります。跡地をどのように活用するかについては、今後とも札幌市と継続協議してまいります。我々地域の要望が少しでも叶えられるよう、その接点を見極めながら解決すべき年と考えています。





## 役員からの一言



副会長(事業部長 兼務)  
**辻本 英樹**(四つ葉会 会長)

令和4年度から文化部と体育部が統合され事業部と名称を改め、活動してまいりました。秋には、3年ぶりにオータムフェスタを開催し、大勢の皆様にご来場いただきました。

三世代交流事業を目標に、今後も努力致しますので、引き続き皆様のご支援、ご協力の程、宜しく、お願い申し上げます。



副会長  
**城 哲也**(わかば会 会長)

新型コロナの世界的流行で、各国の経済活動が停滞気味になりました。更に、ロシア・ウクライナ戦争の為、原油が高騰して世界経済に影響しています。コロナ対策で各国は観光客の規制を図り、日本も厳しい規制を設けましたが、自国経済の行き詰まり解消の為、規制解除した途端に感染者が激増しました。

天下国家の「カジトリ」は政府にお願いして、この窮地を乗り越えて、地域の皆さんと一緒に地域発展の為、前進していきたいと願っております。



会計部 部長  
**佐藤 俊朗**(13町内会)

今年度も新型コロナが終息しない中、各種行事は縮小傾向としながらも、予定通り計画実施出来ている状況にあります。予算の執行は計画を下回っていますが、年度末まで引き続き各事業の円滑な進展と確実な会計処理に努めてまいります。



総務部 部長  
**中井 繁**(紅葉会 会長)

コロナウイルスの関係で2年間の行事休止。3年目の2022年度もまだ大人数での行事は出来ませんでした。マルシェを含む例年の行事は8割以上実施する事が出来ました。総務部は、全行事に関する部として、これからも住み心地の良い街作りに努めてまいります。



保健福祉部 部長  
**物井 榮美子**(友和会 会長)

新型コロナ感染症のため、様々な行事を実施できずにいましたが、徐々に「いきいき健康フェア」を参加者限定で開催致しました。少しずつ活動の場が広がることを願います。1月19日、20日に「対ガン協会」迄無料バスを利用して「ガン検診」を行います。「とくとく健診」も同時に出来ますので皆様にご案内致します。



環境部 部長  
**長谷川 美代子**(青葉会 会長)

青葉中央公園の花壇の土起こしと花苗植え。また、落ち葉堆肥を花壇に入れ、新しい堆肥作りのため新しい落ち葉を集め、踏み固めるなど、大変重労働な作業を各単町の皆様が力を合わせて実行。ホタルの生育も関係者のお世話の賜物で順調。皆様の御協力、本当にありがとうございました。



防犯防災部 部長  
**諏訪田 正美**(13町内会 会長)

温暖化の進行は、気温上昇や降水量の増加だけでなく、ゲリラ豪雨や昨冬のような災害級のドカ雪を発生させます。地震、台風、竜巻と言った自然災害に加え、ブラックアウトや感染症など想定外の災害の発生も。「備えあれば患いなし。」防災に繋がる心構えを日頃から。



交通部 部長  
**山本 正幸**(白樺会 会長)

今年から交通部長になった白樺会会長の山本です。交通部長を引き受けて間もなく、私自身のこれまでの不摂生が影響が大きな病気が判明して、現在まで自宅療養を続けていることから、交通部長の任務を果たすことができなくて申し訳なく思っています。



女性部 部長  
**高平 弥生**(紅葉会)

女性部は、各部を支える「縁の下の力持ち」的位置にありますが、女性部を支えているのは会員の皆さまです。いつも準備などをお手伝いして下さる方々はもちろん、行事に参加して下さる方々も大切です。会員の皆さまが、楽しく、また参加したいと思って下さるよう工夫を凝らし、これからもがんばりたいと思っています。



まちづくり会議担当部 部長  
**千葉 一晴**(紅葉会)

青葉地区は、75歳以上の高齢者が増えております。皆さんが安心して住み続けるためには、見守り、生活支援や住民の自助、互助の強化を図っていくことが必要です。みなさまのご協力をお願いいたします。





# 令和4年度の取り組み行事のふりかえり（上期） 4月～

コロナ禍で中断していた「青葉の森音楽会」、「あおばオータムフェスタ」、「いきいき健康フェア」を、皆様の御協力で再開することができました。

少子高齢化が著しく進んでいる青葉地区ではありますが、子どもたち、若者、現役世代や高齢の皆様がお互いに交流し、支えあい、見守りあいをしなが、みんなで“いきいき”とした青葉のまちづくりを進めたいと考えています。青葉町自治連合会では、皆様“いきいき”と健康に暮らせるまちづくりを目指して、今後も様々な事業に取り組んでまいりますので、皆様の御協力、イベントへの参加をお待ちしています。

## 4月 交通安全街頭啓発



新1年生が事故に遭いませぬように。

## 6月 青葉中央公園花植え



花いっぱいの花壇となりました。

## 6月 ホタル上陸槽の設置（環境部会）



ホタルの飼育に興味がある方はまちセンまで御連絡を！

## 6月 ウォーキング



春のさわやかなお散歩でした♪

## 7月 アクティブリンク見学会



再開発された青葉地区の新しい街を見学しました

## 7月 交通安全街頭啓発



いつもの見守りありがとうございます。

## 8月 ちいさなたなばた会



願いごとがかないますように！

## 8月 青葉の森音楽会



青葉中学校合唱部と北広島弦楽合奏団のコラボ♪

## 8月 厚別区防災訓練



災害に備えて訓練に参加しました。

## 8月 避難所打合せ（新札幌わかば小学校）



町内会の防災部の皆さんが集まりました。

## 9月 あおばオータムフェスタ



新鮮野菜と果物の販売が好評でした



子どもたちに大人気のバルーンアート

## 9月 交通安全街頭啓発



おはよう！気をつけていってらっしゃい

## 10月 青葉児童会館ハロウィンパレード



青葉会館でトリック or トリート

## 11月 迷惑駐車防止パトロール



路上駐車をしないよう気をつけましょう

## 11月 いきいき健康フェア



雪道で転ばないように筋力トレーニング！

## 11月 交通安全街頭啓発



寒い中、ありがとうございました。

## 11月 役員デジタル研修会



オンライン会議などの方法を学びました。

# 各会長から

## わかば町内会

当会は、昭和42年9月に設立し、今年で56年目を迎えます。1丁目、2丁目、4丁目の個人住宅450世帯、約1000人の皆さんがお住まいで、会長・副会長以下30班8部で運営しています。

会員相互の「ふれあい」を大切にしながら、福祉や生活環境の向上、安心安全なまちづくりに取り組むとともに、老人クラブや子ども会も活発に活動しています。

「愛着・誇りをもって暮らせるまち」、「住む人、訪れる人へのおもてなし」、「町内の新たな魅力の発見」などの実現を目指していきたくと考えています。

会長 城 哲也

## 青葉町B団地自治会 友和会

新さっぽろ近辺が再開発でメディカルブロックや新しいタワーマンションが建ち、北側部分に大きな変化がある一方で、南側では益々高齢化がすすんでいます。私共友和会も同様ですが、空き室対策、高齢化対策の一助にと思い、全戸が光通信の環境を整えています。

会長 物井 栄美子

## 青葉町紅葉会

青葉町紅葉会は、昭和43年（1968）に28世帯で発足し、55年目の年となります。

現在の会員数は460世帯。10年前迄は500世帯以上有ったのが、年々減少傾向にあり、高齢化も進んでいる地区ではありますが、青葉地区では一番大きな町内会となっております。

他の町内会同様、役員不足の問題を抱えており、2年前より役員数及び業務の見直しを図り、業務軽減や種々合理化を図っております。

青葉町紅葉会は緑も多く、各家庭の庭には花や樹木を植えられ、四季折々散歩しても飽きない街並みです。

会長 中井 繁

## 白樺会

白樺会は、これまでの回覧板とあわせて、若年世代への情報発信を強化していくため、7年ほど前にホームページを立ち上げました。現在は、役員間の日常的な連絡はメールやラインを活用していますが、今後はZoomを活用した役員会の開催を目指しています。

また、昨冬始めた各家庭の庭などにイルミネーションを飾る「トゥインクルな町づくり」は、「町内会としての取り組みは初めて」など高い評価を得て、この冬も行うことにしているほか、今年から植樹マス花壇の育成・整備の有償ボランティアや、災害時に支援を必要とする方への安否確認ボランティア活動もはじめました。

会長 山本 正幸



# 地域の皆さんへ

## 青葉会自治会

青葉会は平成17年に出来た自治会です。年齢層も幅広く、活気に満ちていたと思いますが、近年は高齢化が進み若い人や子供が減って、老人会や自治会の運営も難しくなりました。高齢の独居住人が増えて、自治会も隣家への声かけ見廻りを強化し、また、新さっぽろ駅周辺の開発、新しいまちづくりにより、今まで以上に防災・防犯が強化され、住民が安心して楽しい生活が送れる街になったら良いと思っています。～お互いを見守る気遣いの町！～

会長 長谷川 美代子

## 四つ葉自治会

平成21年に新しくなった青葉団地D棟も築後15年が経過しました。昨年、団地外周の環境に着目し、自治会として環境整備を行ってまいりました。

外灯のLED化、雨漏りの修繕、駐車場のナンバー書き換え、排水口の地盤沈下修理等を住宅管理会社と協力し行いました。又値上がりが続く電気代も外灯のLED化だけでは安価にする事は出来ない事から、北電担当者呼び、北ガス電気料金と対比させ、より安価にするための提案を伺い、役員会に諮り了承を得、契約を致しました。「高齢者に優しい、子供たちを見守る」四つ葉自治会のスローガンを守り、今後も役員一同、四つ葉自治会のため、努力してまいります。

会長 辻本 英樹

## 青葉13町内会

昨年は、自粛が続いていた町内公園での「夏休み期間ラジオ体操」を3年ぶりに実施し、10日間で延べ700人と大勢の参加がありました。

一方、飲食に伴う親睦旅行会や年末懇親会などの再開は、新型コロナウイルスの脅威が収まるまで難しいかと考えますが、今年も屋外で行う交通安全・街頭啓発、春と秋の町内清掃、公園花壇整備、防災防犯活動のほか、新入学・敬老祝い品の贈呈などの活動、自治連・関連団体が主催する行事への参加・協力活動は引き続き実施します。また、役員の手不足対策についても検討を進めますので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

会長 諏訪田 正美





## 青葉 キラツとこの人

～人物紹介⑬～

今回ご紹介します 長谷川美代子 さんは、平成18年11月から市営住宅C団地にお住まいです。退職後、老人クラブ役員として4年間活動し、また「青葉会自治会」の環境部長、福祉部長を経て、昨年10月からは会長を務めておられます。

ご苦勞の多い会長のお仕事、ストレスの解消方法を尋ねると、「同好の士が集うカラオケで唄うのが一番のストレス解消」とのこと。

唄うことについてお聞きすると、子供の頃から歌や音楽が好きで、はじめてのカラオケは、18歳のとき。生まれ育った町にある自衛隊駐屯地の記念式典で、約5,000人の隊員や来賓、町民を前にして、ドキドキしながら、伊東ゆかりの「小指の思い出」を唄ったそうで、カラオケはそのとき以来の長い友。コロナ禍の今、青葉会館でカラオケをするときは、換気はもちろん、手指やマイクの消毒を心がけ、ステージには「透明な衝立」を置いて感染予防に努めているそうです。

「自分の人生は歌に支えられてきました。悩みや困ったことがあったときでも、ふふ～ん♪、ふっふふ～ん♪、と鼻歌がでてくれば大丈夫。歌があれば、落ち込むこともありません。」と仰っていました。



長谷川美代子さん  
(青葉会自治会)

## 介護家族の力になります

ご本人が納得して、ご利用できるようにお手伝いします。



かりん もり  
デイサービス **花梨の森**

☎ 011-893-8960



## 高齢者が元気で見守りがあるまちを目指して

**高齢者の定義**、国連の世界保健機関(WHO)では、65歳以上の人を高齢者として  
います。

**高齢化社会**とは、高齢化率が7%を超えた社会のことを指します。高齢化率が  
14%を超えた社会を高齢社会、21%を超えた社会を**超高齢社会**と呼んでいます。

日本では、昭和45年に7%を超え高齢化社会に、平成6年には14%を超え高齢  
社会に、平成19年には21%を超え超高齢社会に突入しました。高齢化率はその後  
も上昇を続け令和3年には28.9%に達しています。

また、日本の平均寿命は、令和2年現在、男性 81.56年、女性87.71年となっ  
ており、健康寿命（心身ともに自立し、健康的に生活できる期間）は、令和元年時  
点で男性が72.68年、女性が75.38年となっています。

8年間で、男性女性とも3年ほど健康寿命が伸びています。

また、高齢者中、特に65～74歳では、心身とも健康であり、活発な社会活動が  
可能な人が大多数を占めています。

次に、青葉地区では、昭和56年に21%を超え**超高齢社会**となり、令和4年10  
月現在46.4%に達しています。

### 《超高齢社会の問題点》

要介護者の急増によって、従来の医療制度では対応しきれないことが懸念されま  
す。あるいは、「老々介護」がさらに増えることが予想されます。また、一人暮らし  
の高齢者の増加が懸念されます。

### 《超高齢社会への対策》

地域住民が可能な限り、住み慣れた地域で介護サービスを一体的・継続的に受け  
ることができる「地域包括ケアシステム」という仕組みがあります。この中では、  
自治会、町内会その他任意団体による見守りや生活支援サービスの提供が期待され  
ています。

青葉地区も、行政、各種団体や住民が手をつなぎ、安心して暮らせる街にしま  
しょう。

「ずーっと。」  
人と社会を支える

**K 溪仁会グループ**

社会福祉法人溪仁会 **青葉ハーティケアセンター**

- あおばデイサービスセンター ☎ 893-5000
- 小規模多機能型居宅介護あおば ☎ 893-5555
- 訪問看護ステーションあおば ☎ 893-5500
- 居宅介護支援事業所あおば ☎ 893-8761
- 児童デイサービスぱぷりか ☎ 893-5006

〒004-0021 札幌市厚別区青葉町4丁目10番27号(青葉会館向い)



## 功労者表彰のご報告 ～より一層のご活躍を～

令和4年中に、青葉地区で各分野における功績について表彰を受けた方をご紹介します。受賞者の皆様、おめでとうございます！

### 札幌市自治振興功労者表彰

つちだ よしや  
**土田 義也 様**  
(青葉町紅葉会)

令和4年12月吉日 表彰

青葉町自治連合会会長、青葉町紅葉会会長など、町内会の役員を務め、厚別区社会福祉協議会評議員や青葉会館運営委員会委員長として活躍するなど、多年にわたり地域住民活動に尽力し、地域の自治振興に大きく貢献されております。



### 交通安全功労者 知事感謝状

みな  
**マーフィー 美奈 様**  
(白樺会)

令和4年9月吉日 表彰

交通安全母の会の幹事、副会長、会長など、多年にわたり交通安全運動の推進に積極的に取り組み、交通事故防止に大きく貢献されました。



## 編集後記

総務部長 中井 繁

前回号に、一昨年「本当に住みやすい街大賞in北海道」に「新さっぽろ駅周辺」が第一位に選ばれた事を記しましたが、意外と知っている人が少なかった様な気がしました。

青葉町も北海道で一番住んで良かった地区です。もっと自信と誇りを持ってお過ごし頂ければ良いかと思いますが、昨年の様な大雪での苦情の嵐はご容赦下さい。

さて、今年も青葉町連だより108号を発行する事が出来ました。

忙しくて大変な中、皆様より寄稿頂き、そして広告協賛企業及び編集に携わった青葉まちづくりセンターの皆様、有り難うございました。心より感謝申し上げます。

又、町内会会員の皆様方におかれましては、本年もコロナウイルスに負けずに元気で過ごしましょう。